

原子力廃棄物を考える

国際市民フォーラム

立地を成功させるために

昨年は、海外の処分地問題に対する取組み事例を元に、日本における問題解決に向けて皆さまと共に考えてまいりました。今年も、日本で成功させるためのヒントになればと、この問題において前進しつつある国より講師をお招きします。どのような方法が日本に適合するのか、皆さまも一緒に考えてみませんか？

参加無料

とき：2010年1月30日（土）
12:30—15:45（開場 12:00）

会場：ニッショーホール
（港区虎ノ門2-9-16）

プログラム

第1部 講演（各国からの話題） 12:40—14:20

スウェーデン：カイ・アールボム（スウェーデン核燃料・廃棄物管理会社）
立地初期に公募を取り入れつつ失敗し、その教訓を後の立地プロセスで生かした点などを紹介する。

イギリス：ジェイ・レッドグローブ（原子力廃止措置機関）
後発ではあるが、各国の方式を研究して自国の方向を定めた。その着目点などを紹介する。

日本：朽山 修（(財)原子力安全研究協会）
公募方式では、自治体の首長に労の多くが集中するなどハードルが高かったため、これを低減させるべく新たに追加したシステム等を紹介する。

第2部 パネルディスカッション 14:40—15:45



パネリスト

コーディネーター

第1部講演者

宮崎 緑（千葉商科大学）

東京工業大学講師を経て、2000年、千葉商科大学政策情報学部助教授に就任。06年4月より教授。専攻は、国際政治学、政策情報学。神奈川県教育委員、日本計画行政学会理事他、多数の役職を務めている。

お申込方法については裏面をご覧ください

(社)日本原子力学会



社会環境部会

社会との関連が大きい原子力エネルギー技術の社会的側面について学問的に研究し、その成果についての情報交換や普及を図ることを目的とした部会。外部に開かれたシンポジウムの開催等を推進している。

バックエンド部会

原子力の燃料再処理、廃棄物処理処分という領域に関連して行われる様々な専門分野の研究活動を支援し、この発展に貢献することを目的としている。

WIN-Japan/ ウィン・ジャパン
(Women In Nuclear—Japan)



原子力および放射線の業務や研究に携わる女性のネットワーク。原子力エネルギーや放射線利用について一般の人々への理解を広める活動を行っている。